

研究に関するお知らせ

切除不能消化器・原発不明NET G3に対する薬物療法の治療成績に関する多施設共同
後ろ向き観察研究

国立研究開発法人国立国際医療研究センター病院 消化器内科では、以下にご説明する研究を行います。

この研究への参加を希望されない場合には、研究不参加とさせていただきますので、下記のお問い合わせ先にお申し出ください。ご本人が意思表示できない場合、ご家族がお申し出くださっても結構です。お申し出になられても、いかなる不利益も受けることはございませんのでご安心ください。

■研究目的・方法

目的：

切除不能消化器・原発不明神経内分泌腫瘍グレード3と診断され、薬物療法を施行された患者さんを対象とし、薬物療法の効果や経過について調査することで、どのような治療が行われてきたかについて検討します。

方法：

切除不能消化器・原発不明神経内分泌腫瘍グレード3と診断され、薬物療法を実施した方で、2011年1月1日から2019年12月31日の間に、消化器内科に通院・入院された方を対象に、当院が所持する検体・診療情報等は、患者さん個人が特定できない状態とし、郵送で国立がん研究センター東病院 肝胆膵内科の施設へ提供します。

意義：

この研究により、切除不能消化器・原発不明神経内分泌腫瘍グレード3の患者さんに有効な薬物療法の選択を可能にすることを期待しています。

■研究期間

理事長承認日 ～ 2022年 5月30日

■研究の対象となる方

2011年1月1日から2019年12月31日の間に、消化器内科に通院・入院し、切除不能消化器・原発不明神経内分泌腫瘍グレード3と診断され、薬物療法を施行された方

■研究に用いる試料・情報の種類

検体：腫瘍組織

診療情報：診断名、年齢、性別、身体所見、症状、薬物療法前の治療歴、検査結果（血液検査、画像検査）、腫瘍の状況（腫瘍量、病期、組織診断の結果）、診断方法、治療経過

■利益相反について

利益相反の状況については NCGM 利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。本研究に関する研究全体及び研究者個人として申告すべき利益相反の状態はありません。

■研究資金について

この研究は、香川大学医学部附属病院がんセンターの研究費（校費）により実施する。

■研究計画書等の入手・閲覧方法・手続き等

あなたのご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。

■個人情報の開示に係る手続きについて

本研究で収集させて頂いたご自身の情報を当院の規定に則った形でご覧頂くこともできます。

ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。

■研究責任者：

国立研究開発法人国立国際医療研究センター病院
〒162-8655 東京都新宿区戸山1-21-1 03-3202-7181
消化器内科 小島 康志

■お問い合わせ先

国立研究開発法人国立国際医療研究センター病院
〒162-8655 東京都新宿区戸山1-21-1 03-3202-7181
消化器内科 小島 康志

■掲示場所・交付場所

病院ホームページへ掲載するほか、診察室、外来治療センターの掲示板にも掲示いたします。